

多細胞システム形成研究センターの発足にあたって

発生・再生科学総合研究センターは、多細胞システム形成研究センターとして再出発することになりました。細胞が基本となって組織・器官を構成する多細胞システムは、ヒトを含む動物体の根幹であり、このシステムの成り立ちの解明は、生命科学研究分野における最重要課題であるだけでなく、再生医療の推進や疾病の克服のためにも極めて重要です。多細胞システム形成研究センターは、社会からの期待の大きいこの分野をより一層強化することを目指しています。

新センターの発足を機に、私自身はセンター長を退くことといたしました。新たなセンター長の選考については、国際水準に照らした選考が進んでおり、センター長が決まるまでの間は、生命システム研究センターの柳田敏雄センター長が多細胞システム形成研究センターのセンター長業務を代行いたします。

これまで、神戸市、兵庫県をはじめ海外の多くの学会、科学者から発生・再生科学総合研究センターの研究活動を支持する声明、文書を頂きました。これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き、多細胞システム形成研究センターへのご支援を頂ければ幸いです。

平成 26 年 11 月 14 日

発生・再生科学総合研究センター長 竹市 雅俊